

高等教育無償化プロジェクトFREEからの報告



FREEについて

- ・2018年9月13日に設立
- ・大学生、専門学校生、院生を中心に構成
- ・目的:「すべての人」への高等教育無償化
具体的には、次の3点を求める。
 - 1, 高等教育の無償化を目指し、学費値下げに踏み出すこと。
 - 2, 高等教育の授業料免除枠を大幅に拡大すること。
 - 3, 奨学金制度を抜本的に改善すること。

新型コロナウイルス感染症拡大の 学生生活への影響調査

新型コロナ感染拡大の学生生活への影響調査

集計結果(数表)① 調査期間：2020年4月9日21時～4月27日20時
回答：319校1200名(国立大学60校412名、公立大学19校33名、私立大学202校716名、短期大学3校3名、専門学校32校32名、その他高等教育機関3校4名)

学年	実数	割合(%)	全体割合(%)
1年	196	16.3	16.3
2年	290	24.2	24.2
3年	298	24.8	24.8
4年	242	20.2	20.2
5年	39	3.3	3.3
6年	43	3.6	3.6
院生	85	7.1	7.1
その他	7	0.6	0.6
計	1200	100.0	100.0
無回答	0		

オンライン授業が行われるか	実数	割合(%)	全体割合(%)
オンライン授業が行われる	1076	90.0	89.7
オンライン授業の予定はない	120	10.0	10.0
計	1196	100.0	99.7
無回答	4		

オンライン授業が行われた場合、経済的負担は増えるか	実数	割合(%)	全体割合(%)
経済的負担が増える	367	31.0	30.6
経済的負担は増えない	818	69.0	68.2
計	1185	100.0	98.8
無回答	15		

アルバイトはやっていますか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
やっている	482	40.2	40.2
やりたいが見つからない	99	8.3	8.3
やる予定	80	6.7	6.7
予定はない	111	9.3	9.3
コロナ問題でバイトがなくなった	426	35.6	35.5
計	1198	100.0	99.8
無回答	2		

高等教育無償化プロジェクトFREEのことを知っていましたか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
知っていた	367	30.7	30.6
知らなかった	828	69.3	69.0
計	1195	100.0	99.6
無回答	5		

オンライン授業が行われた場合困ることにチェックをつけてください(複数回答可)	実数	割合(%)	全体割合(%)
パソコンがない	103	10.9	8.6
Wi-Fiがない	126	13.3	10.5
落ち着いて受講できる環境がない	494	52.1	41.2
情報が少ない	734	77.3	61.2
計	949	100.0	79.1
無回答	251		

コロナウイルスの感染拡大による影響でアルバイトの収入はどうかになりましたか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
増えた	30	2.6	2.5
変わらない	313	26.9	26.1
減った	478	41.1	39.8
ゼロになった	342	29.4	28.5
計	1163	100.0	96.9
無回答	37		

何を遊んでFREEを知りましたか？(複数選択可)	実数	割合(%)	全体割合(%)
Twitter	191	33.9	15.9
テレビ	48	8.5	4.0
ラジオ	4	0.7	0.3
新聞	43	7.6	3.6
雑誌	2	0.4	0.2
ホームページ	22	3.9	1.8
ウェブメディア	100	17.7	8.3
授業	28	5.0	2.3
知人	243	43.1	20.3
インスタグラム	23	4.1	1.9
その他	未集計		
計(その他含む)	564	100.0	47.0
無回答	636		

アルバイトの収入は何に使いますか？(複数回答可)	実数	割合(%)	全体割合(%)
生活費	758	68.0	63.2
学費	312	28.0	26.0
奨学金返済のための貯金	235	21.1	19.6
その他のための貯金	422	37.9	35.2
サウナ	301	27.0	25.1
趣味・娯楽	700	62.8	58.3
本	424	38.1	35.3
その他	未集計		
計(その他含む)	1114	100.0	92.8
無回答	86		

コロナ問題以前の家庭の世帯年収を教えてください	実数	割合(%)	全体割合(%)
270万未満	151	13.1	12.6
270万～380万	70	6.1	5.8
380万～500万	111	9.6	9.3
500万～600万	77	6.7	6.4
600万～800万	145	12.6	12.1
800万～1000万	100	8.7	8.3
1000万以上	153	13.3	12.8
わからない	344	29.9	28.7
計	1151	100.0	95.9
無回答	49		

新型コロナ感染拡大の学生生活への影響調査

集計結果(数表)② 調査期間：2020年4月9日21時～4月27日20時
回答：319校1200名(国立大学60校412名、公立大学19校33名、私立大学202校716名、短期大学3校3名、専門学校32校32名、その他高等教育機関3校4名)

家計を支えている方の収入・事業・仕事への自粛等の影響を教えてください(複数回答可)	実数	割合(%)	全体割合(%)
収入が減った	574	90.0	47.8
収入がなくなった	76	11.9	6.3
職を失った	10	1.6	0.8
事業が立ち行かなくなっている	35	5.5	2.9
倒産した	1	0.2	0.1
計	638	100.0	53.2
無回答	562		

奨学金を利用していますか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
利用している	483	41.2	40.3
利用していない	557	47.6	46.4
返済の不安などから申し込みをしなかった	68	5.8	5.7
申し込みをしたが受けられなかった	18	1.5	1.5
コロナの影響で申し込みたい	45	3.8	3.8
計	1171	100.0	97.6
無回答	29		

奨学金は何に利用していますか(利用する予定ですか)？(複数回答可)	実数	割合(%)	全体割合(%)
生活費	294	54.0	24.5
学費	412	75.7	34.3
奨学金返済のための貯金	100	18.4	8.3
その他のための貯金	62	11.4	5.2
サークル	38	7.0	3.2
本	71	13.1	5.9
趣味・娯楽	65	11.9	5.4
実家への仕送り	3	0.6	0.3
その他	未集計		
計	544	100.0	45.3
無回答	656		

アルバイト収入減や親御さんの収入減などで大学等をやめることを考えていますか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
考えない	856	74.0	71.3
少し考える	186	16.1	15.5
大いに考える	58	5.0	4.8
やめることにした	2	0.2	0.2
やめないが休学を検討	55	4.8	4.6
計	1157	100.0	96.4
無回答	43		

生活費はどれくらい(の予定)ですか？(月額～万円)	実数	割合(%)	全体割合(%)
0	11	1.7	0.9
～1万	21	3.2	1.8
～3万	105	16.2	8.8
～5万	139	21.4	11.6
～7万	78	12.0	6.5
～10万	184	28.4	15.3
～15万	87	13.4	7.3
～20万	18	2.8	1.5
20万～	6	0.9	0.5
計	649	100.0	54.1
無回答	551		

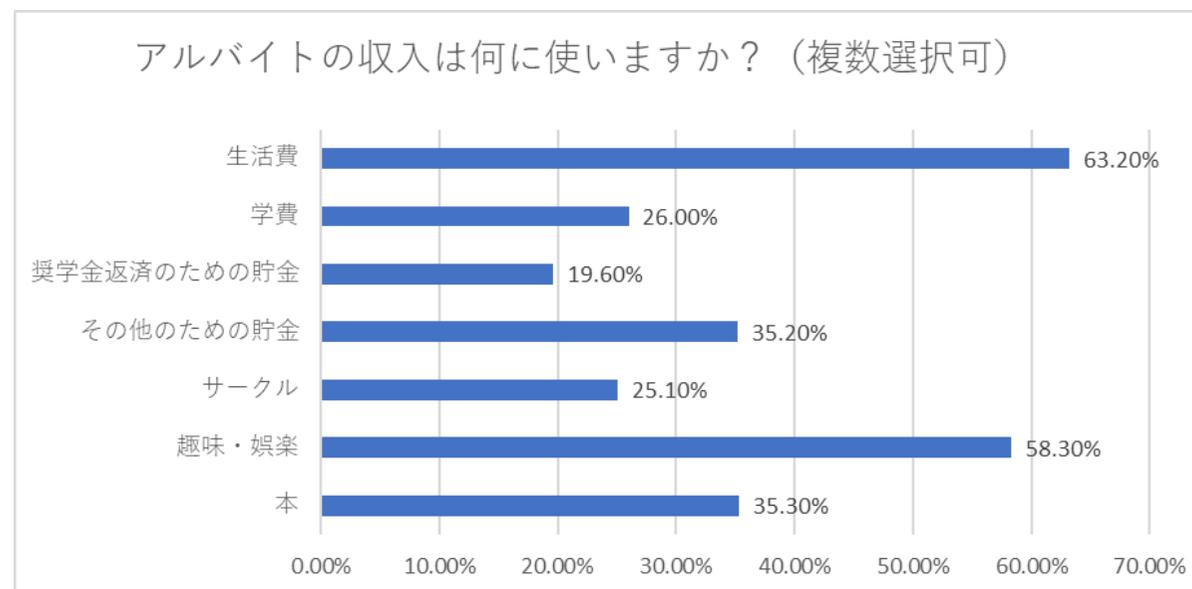
いま、どこで生活していますか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
自宅	661	57.0	55.1
寮	54	4.7	4.5
一人暮らし	312	26.9	26.0
一人暮らしを中断し滞在中	107	9.2	8.9
その他	26	2.2	2.2
計	1160	100.0	96.7
無回答	40		

住送りやお小遣いはどれくらいもらいますか？(月額～万円)	実数	割合(%)	全体割合(%)
0	205	33.4	17.1
～1万	50	8.2	4.2
～3万	123	20.1	10.3
～5万	89	14.5	7.4
～7万	41	6.7	3.4
～10万	71	11.6	5.9
～15万	26	4.2	2.2
～20万	6	1.0	0.5
20万～	2	0.3	0.2
計	613	100.0	51.1
無回答	587		

今年度から始まる政府の修学支援新制度による授業料減免・給付型奨学金を受けていますか？	実数	割合(%)	全体割合(%)
授業料全額免除を受けている	37	3.3	3.1
授業料2/3免除を受けている	18	1.6	1.5
授業料1/3免除を受けている	32	2.8	2.7
応募しようとしてシミュレーターをかけたが対象外だったため応募しなかった	166	14.7	13.8
応募したが受けられなかった	59	5.2	4.9
応募しなかった	733	64.9	61.1
コロナの影響で家計が減りこれから応募する	84	7.4	7.0
計	1129	100.0	94.1
無回答	71		

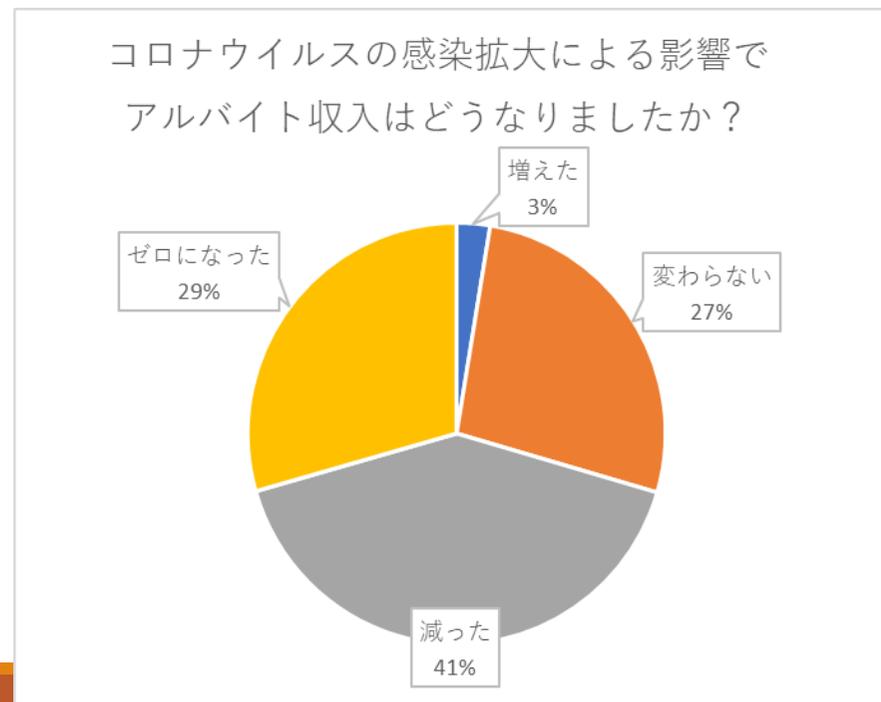
1. 経済面の影響

学生はアルバイト収入に依存して生活している。
(生活費にあてている学生が約63%、学費にあてている学生が約26%。)



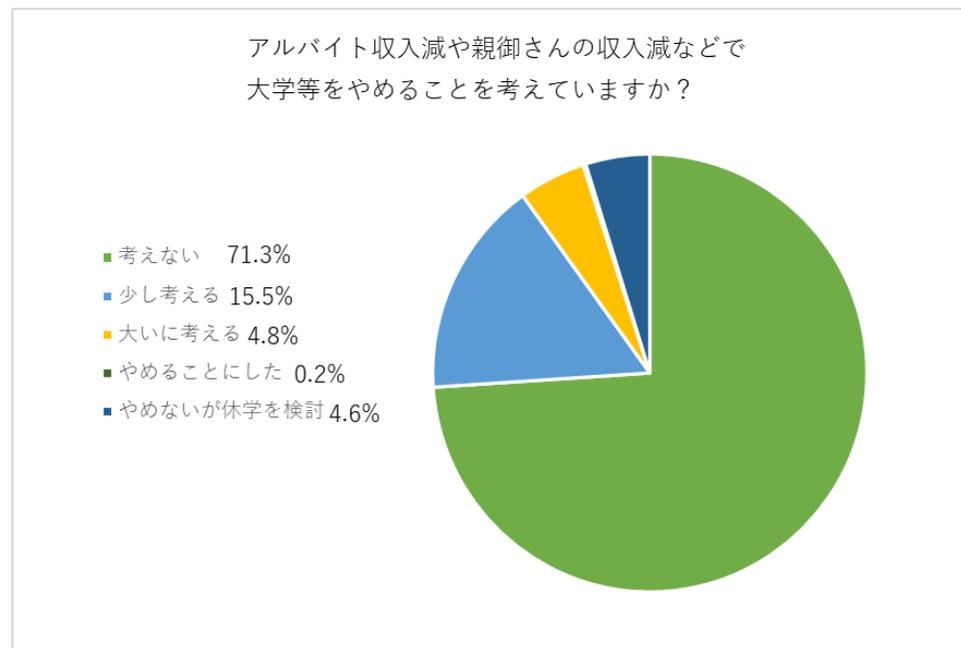
1. 経済面の影響

コロナ禍によってアルバイト収入が減った学生は約7割にのぼる。
（「減った」が約41%、「ゼロになった」が約29%



1. 経済面の影響

退学を検討している学生が約20%
（「少し考える」が約15%、「大いに考える」が約5%）



1. 経済面の影響

- 学生はアルバイト収入に依存して学生生活を維持していた。
- コロナ禍によってバイトがなくなり、生活が苦しくなる。
- 5人に1人が退学を検討する事態に。

1. 経済面の影響

学生の声

- 奨学金は既にコロナ以前から借りている。世帯収入は目に見えて減っているし、アルバイトもなく自分の収入もない。だが、給付や授業料減免を受けるには余りにその門が狭い。とてもでは無いがこれ以上貸与奨学金を借りて借金を増やすことは出来ない。
(国立大学/世帯年収 600万～800万/授業料免除: 応募しようとしてシミュレーターをかけたみたら対象外だったため応募しなかった/退学について: 大いに考える)
- バイトがなくなり、収入がなくなった。学費免除や現金支給など何かしらの補償制度が設けられなければこのまま在学することは難しいかもしれない。
(私立大学/世帯年収 500万～600万/授業料免除: 応募しようとしてシミュレーターをかけたみたら対象外だったため応募しなかった/退学について: 少し考える)

2. 学業面の影響

多い実態

- ・図書館が使えない
- ・実技、実験、フィールドワークができない
- ・上2つと関係して、卒論への不安
- ・資格のための試験や実習ができない
- ・留学ができない、中止になった
- ・Wifiに問題がある

2. 学業面の影響

学生の声

- 大学の図書館が閉室になるため卒論がこなせるかどうか不安
- 家族5人なのでみんな自宅待機してるので、WiFiが弱くオンライン授業が途切れたりします。
- 先生方と直接会えないので学習や今後の大学生活について気軽に相談することが出来ない。授業の時間割が変更されたり実技の教科が実施されなかったりして単位を取得できない可能性がある。
卒業論文の準備だけではなく、就職活動や大学院の研究計画書についての準備も進まないのではないかという不安の声が同級生達からも聞こえる。

3. 就職活動への影響

学生の声

- インターンに行けないのでどんな職種があるのか、どんな事業があって第1希望など絞っていったらいいのか、コロナの影響で就職先がまずあるのか不安
- 就職についての相談に乗ってもらえない
- 公務員志望だが、今年度の公務員試験延期などの混乱で自分が受ける来年倍率が上がってしまわないか不安。

4. 精神面の影響

学生の声

- 地方出身であり、知り合いもほとんどおらず、同級生、先輩、先生方との顔合わせもないままのうえ、パソコンに長けていないので何もかもが不安です。
 - 大学のどの窓口に不安を訴えればいいのか分からない。
 - アルバイトで働いている時も新型コロナウイルスの感染に不安を感じている。
- 

政府の対応

- 第一次補正予算(7億円)
- 学生支援緊急給付金(約43万人に10~20万円)
- 第二次補正予算(困窮学生等に対する支援 153億円)

→コロナ禍によってすべての学生が何かしらの影響を受けていることを考えると、支援が全然足りていない。

FREEが求める学生支援

4月22日に緊急提言を発表し、9つの要求を掲げた。

- 1、コロナ禍が長期化するなかで、アルバイト収入の減少、家計収入の減少により、大学等を続けることが困難になる学生が大量に生み出されるおそれがあります。現在の国の支援策は対象枠が非常に狭くなっています。中所得層の授業料免除は、国立大学の在校生（一部の大学では新生も対象）のみとなっています。国の責任で国公私立、学部生、大学院生、留学生問わず、一律の授業料半額免除を求めます。
- 2、学生アルバイトに対する休業補償を求めます。学生アルバイトに対して休業補償がされるよう、政府として必要な政策を取ってください。政府が計画している一人10万円の給付金を日本に在留中の他国の留学生、外国籍の学生に支給することを求めます。コロナ禍の長期化に伴い、給付金の継続を求めます。その際、様々な事情を抱えた学生がいることを考慮し給付金は学生個人に支給されるよう求めます。
- 3、オンライン授業に伴う学生の費用負担の補填を求めます。オンライン授業を行う大学・専門学校に対する設備費の補償を求めます。図書館に代わる書籍・資料の貸し出しシステムの整備を各大学が進める際、国として費用補填をおこなってください。
- 4、留学途中で帰国した学生が予定されていた以上の経済的な負担を被っている場合、それを国として補償してください。今年度留学を計画していた学生が引き続き大学等に在学し留学を希望する場合、追加される在学期間の学費等を国として補完する制度を求めます。
- 5、内定の取り消しが行われないよう政府として実効性のある手立てを取ってください。来年3月卒業予定者を採用する企業等に対する支援金をつくるなど、企業等の採用活動が縮小しない対策を講じてください。
- 6、学生のメンタルケア、健康に関する相談窓口体制をつくるよう各大学・専門学校に要請を行ってください。その際、相談体制を確立するための費用を政府として補填してください。
- 7、公演・ライブ・合宿・大会など、学生の課外活動の自粛に伴う経済的負担の補償を求めます。
- 8、現在奨学金を返済している方々に対して、当面1年間は奨学金の返済を猶予し、利息を停止するよう求めます。
- 9、新型コロナウイルス後の高等教育や学生生活の在り方を検討する際には、当事者である学生の参加のもとですすめることを求めます。